

#### (4) 埋立土砂発生区域における土砂の採取

埋立土砂発生区域、工事用仮設道路及び美謝川の切替えに係る陸上工事による  
改変区域の平面図を図-2.4.2.54に、断面図を図-2.4.2.55に示します。

埋立土砂発生区域における土砂の採取は図-2.4.2.53の施工フローにしたがい、  
図-2.4.2.56に示すとおり、Aブロック→Bブロック→Cブロックの順に進めてい  
く計画としています。工事の各進捗段階における表土保護工の実施状況は図  
-2.4.2.57に示すとおりです。また、各ブロックの面積、切土量、盛土量等は図  
-2.4.2.58に示すとおりです。

なお、埋立土砂発生区域については、周辺の生態系への影響を低減することを  
目的に区域内及び林縁部において、土砂採取後に緑化を実施する計画です。緑化  
計画フロー及び緑化形成模式図を図-2.4.2.59及び図-2.4.2.60に示したように改  
変区域内に多く生育する在来種を活用し緑化を行う計画です。

また、ベルトコンベアの概略図を図-2.4.2.61に示します。

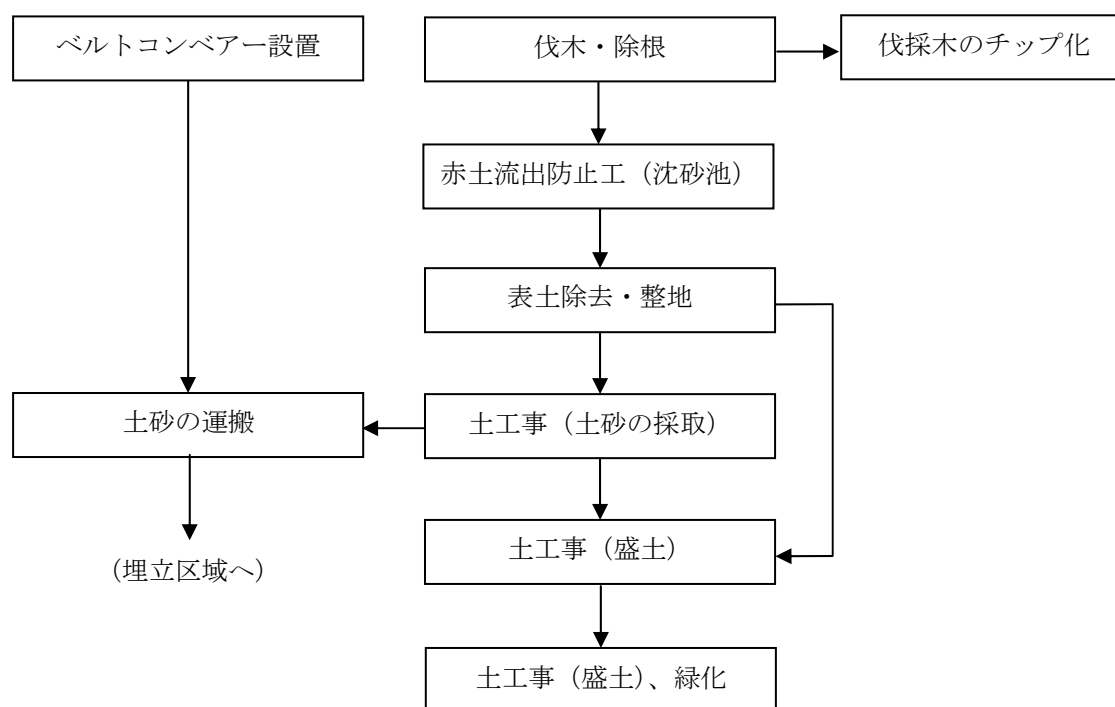
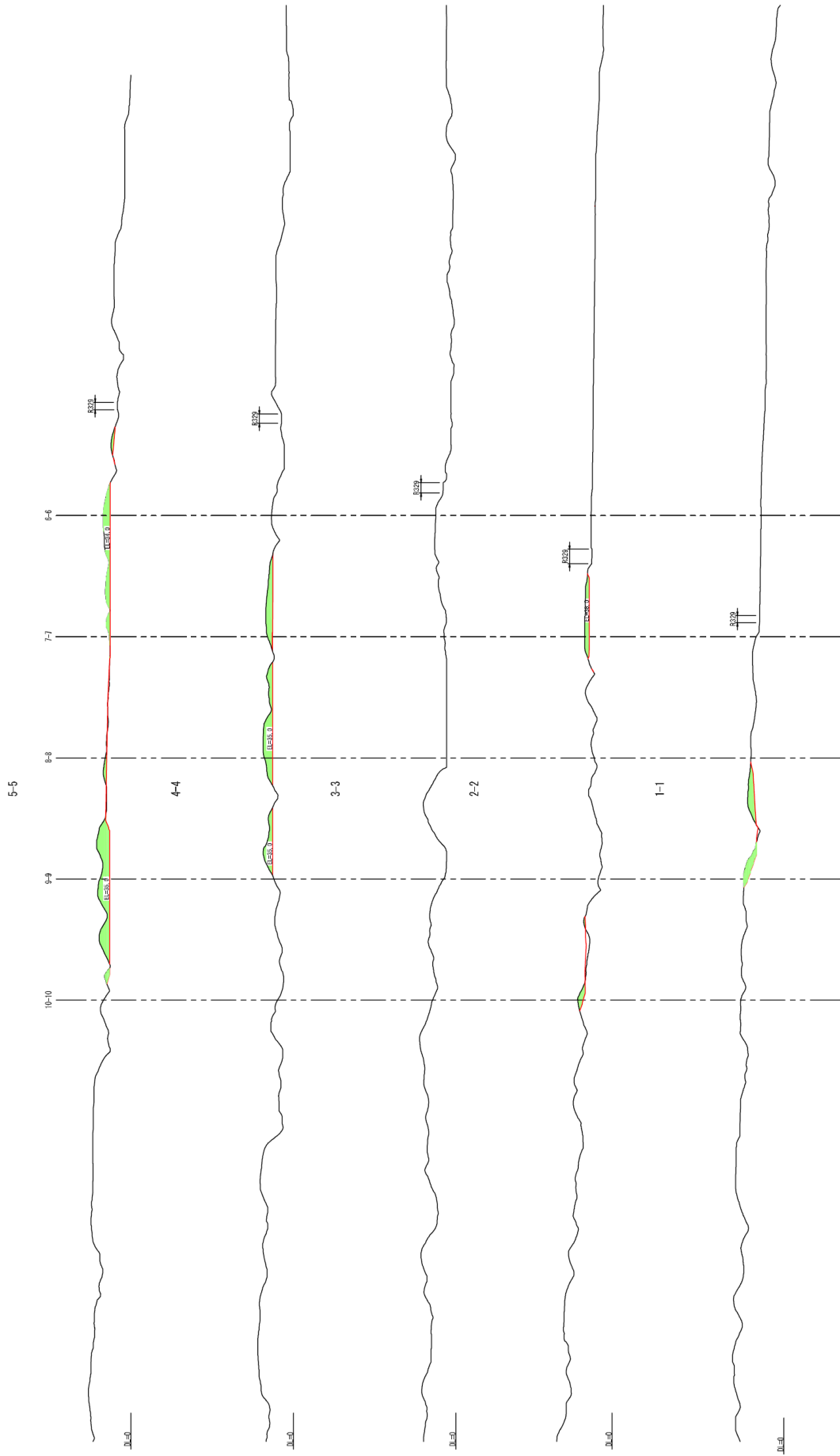


図-2.4.2.53 埋立土砂発生区域 施工フロー

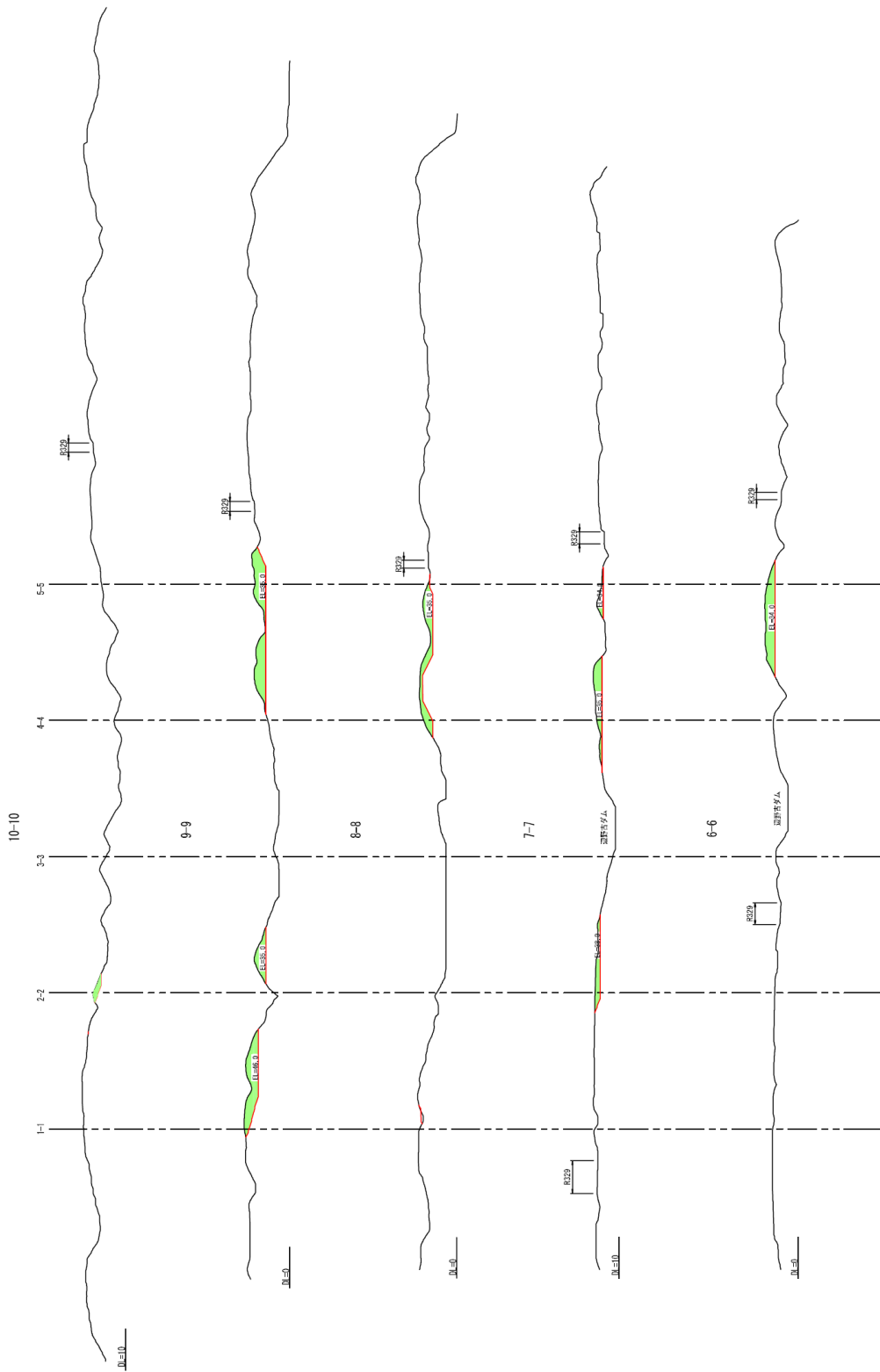


図-2.4.2.54 陸上工事に係る改変区域（埋立土砂発生区域、工事用仮設道路、工事用仮設道路の切替え）平面図



000:1=1  
H=1:3000

図-2.4.2.55(1) 陸上工事に係る改変区域 (埋立土砂発生区域、工所用仮設道路、美謝川の切替え) 断面図



△  
V=1:3000  
H=1:5000

図-2.4.2.55(2) 陸上工事に係る改変区域（埋立土発生区域、工所用仮設道路、美謝川の切替え）断面図

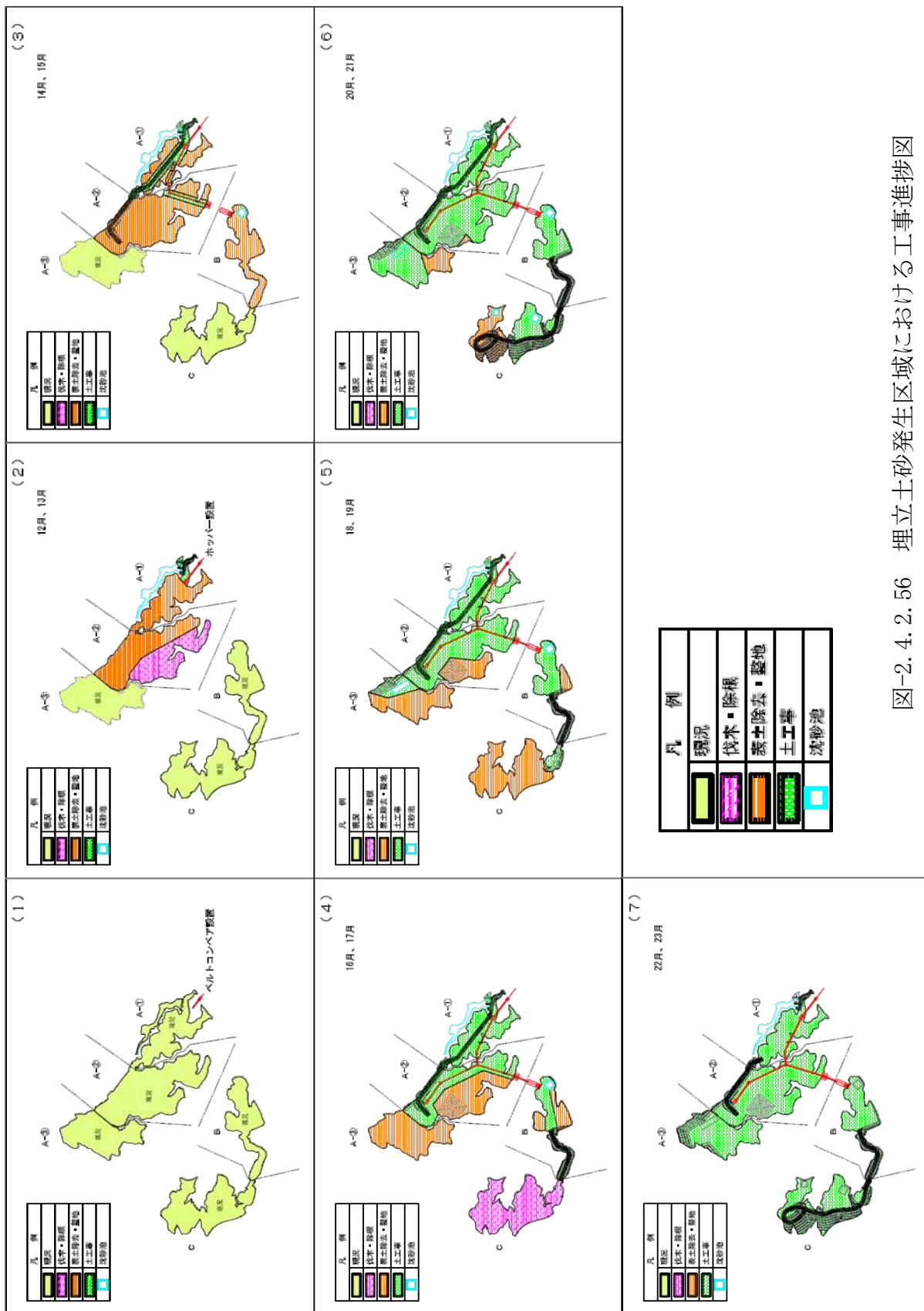


図-2.4.2.56 埋立土砂発生区域における工事進捗図

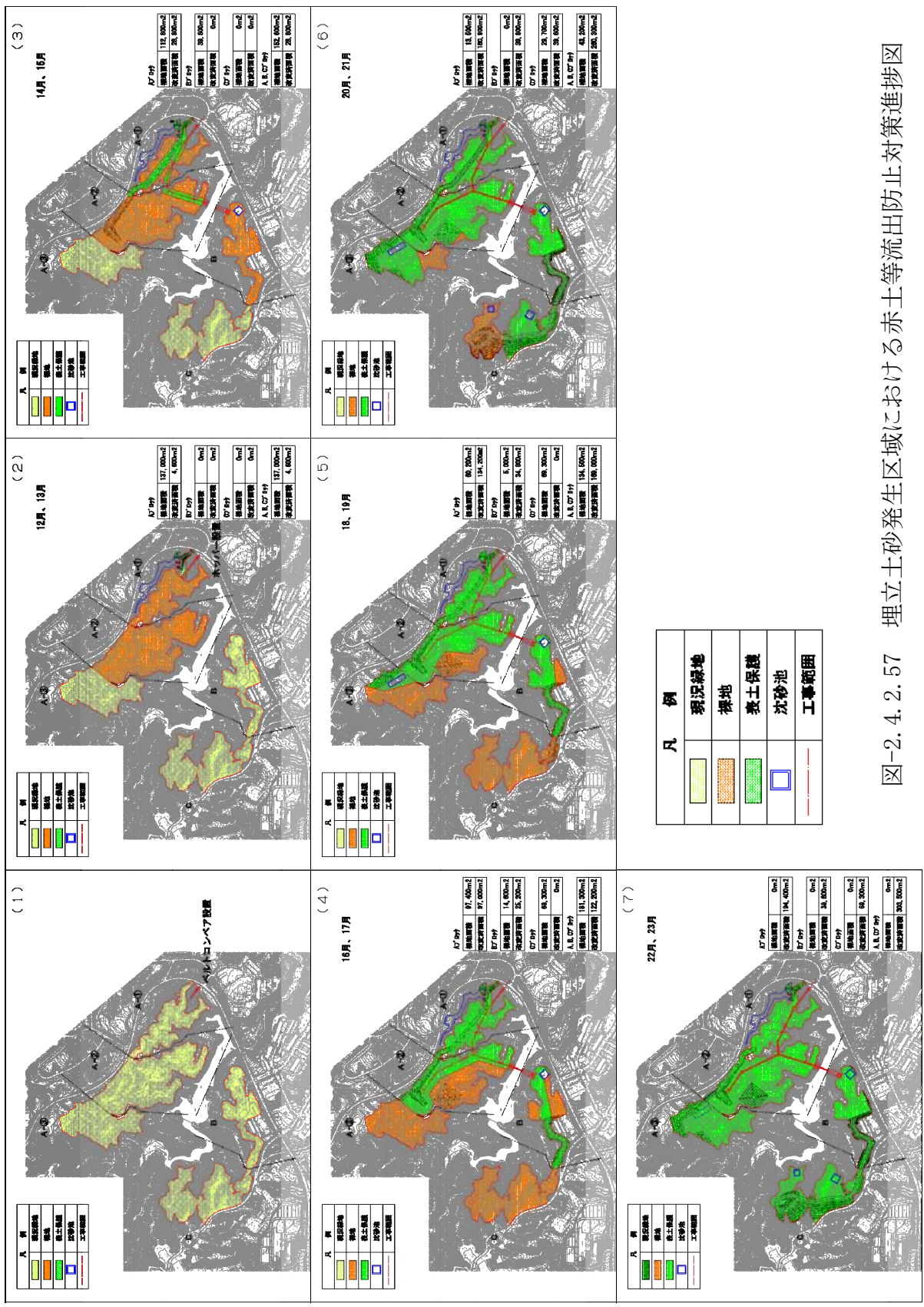
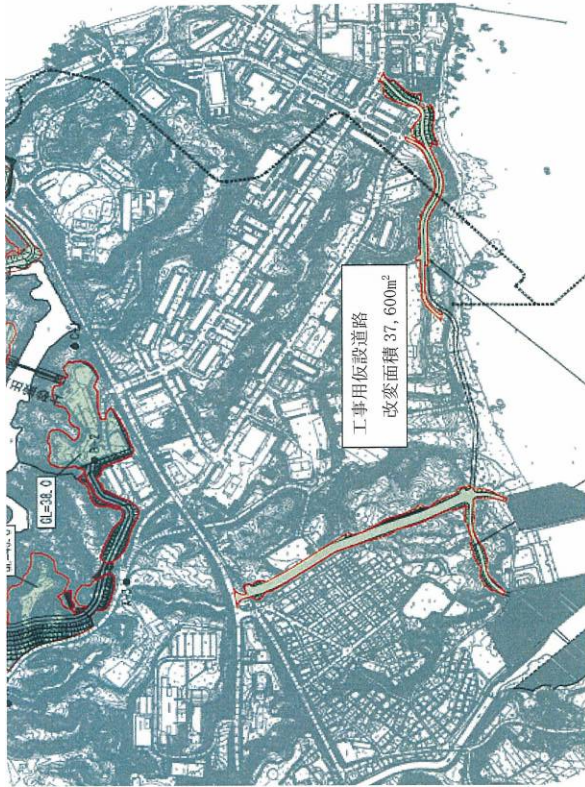
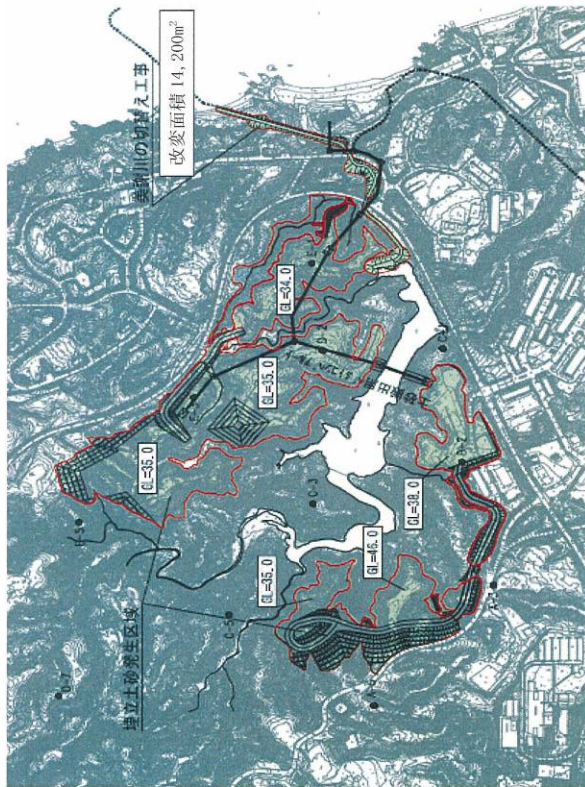


図-2.4.2.57 埋立土砂発生区域における赤土等流出防止対策進捗図



土砂発生区域改変面積および土量

| 種別        | 単位             | Aブロック     | Bブロック   | Cブロック   | 計         | 留意事項                                                                                |
|-----------|----------------|-----------|---------|---------|-----------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 面積        | 切土面積           | 193,800   | 38,300  | 66,700  | 298,800   | ■沈殿池として利用する面積 17,300m <sup>2</sup><br>■沈殿池含む面積 303,500+17,300=320,800m <sup>2</sup> |
|           | 盛土面積           | 600       | 1,500   | 2,600   | 4,700     |                                                                                     |
|           | 計              | 194,400   | 39,800  | 69,300  | 303,500   |                                                                                     |
|           | 粘性土            | 531,600   | 50,000  | 171,300 | 752,900   |                                                                                     |
|           | 軟岩 I           | 1,079,300 | 101,500 | 347,700 | 1,528,500 |                                                                                     |
| 切土量(地山)   | 計算切土量          | 1,669,000 | 163,000 | 535,700 | 2,367,700 |                                                                                     |
|           | 平均表土厚          | 0.30      | 0.30    | 0.25    |           |                                                                                     |
|           | 表土量            | 58,100    | 11,500  | 16,700  | 86,300    |                                                                                     |
|           | 計              | 1,610,900 | 151,500 | 519,000 | 2,281,400 |                                                                                     |
|           | 盛土量(縮固)        | 900       | 12,800  | 9,100   | 22,800    |                                                                                     |
| 換算C       | 計算盛土量          | 700       | 12,300  | 8,400   | 21,400    |                                                                                     |
|           | 平均表土厚          | 0.30      | 0.30    | 0.25    |           |                                                                                     |
|           | 表土量            | 200       | 500     | 700     | 1,400     |                                                                                     |
| 盛土量(地山換算) | —              | 1.07      | 1.07    | 1.07    |           |                                                                                     |
|           | 盛土量            | 800       | 12,000  | 8,500   | 21,300    |                                                                                     |
| 発生土量      | m <sup>3</sup> | 1,610,100 | 139,500 | 510,500 | 2,260,100 |                                                                                     |

図-2.4.2.58 陸上工事における改変面積及び埋立土砂発生区域における発生土量

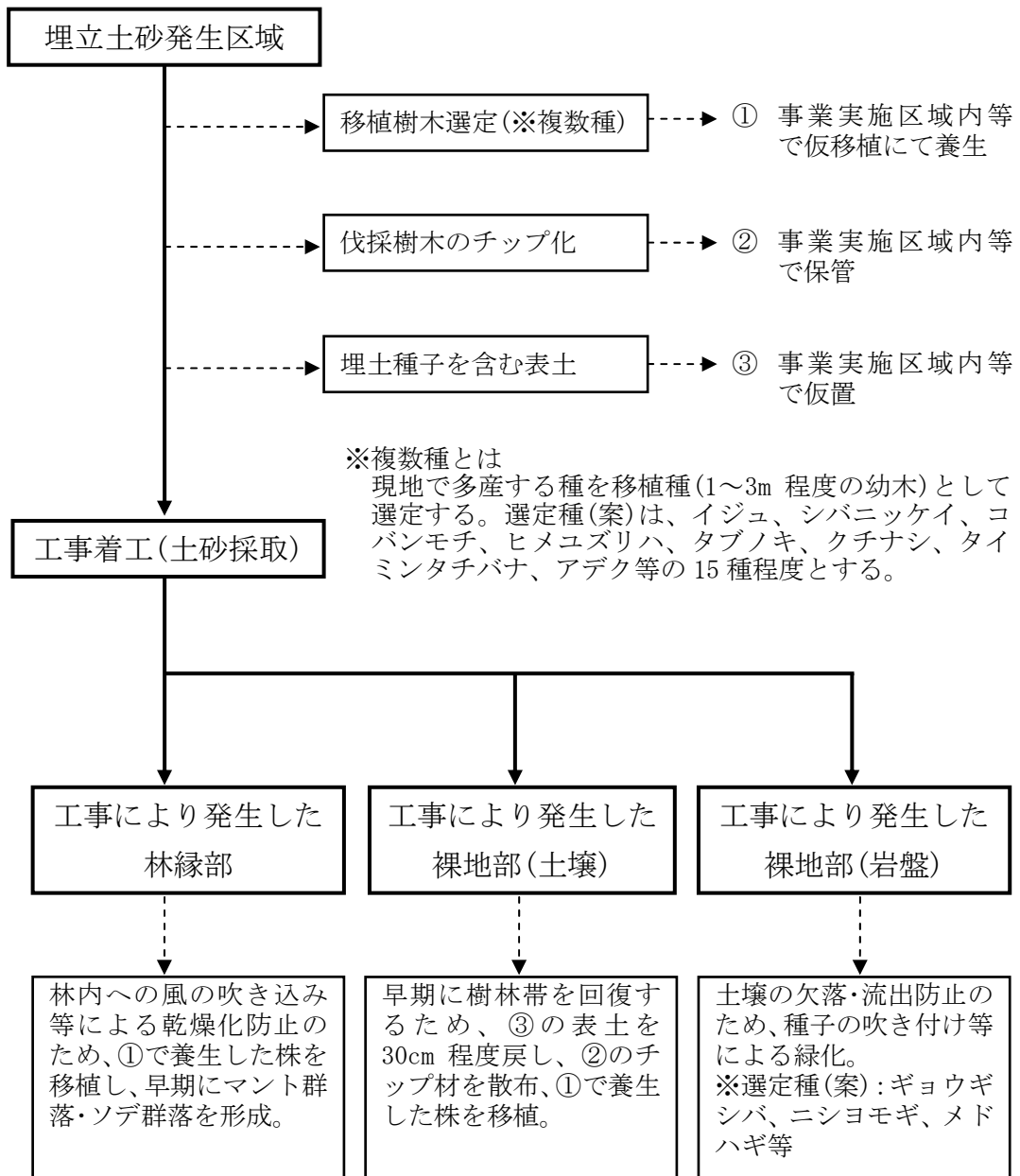


図-2.4.2.59 埋立土砂発生区域における緑化計画フロー



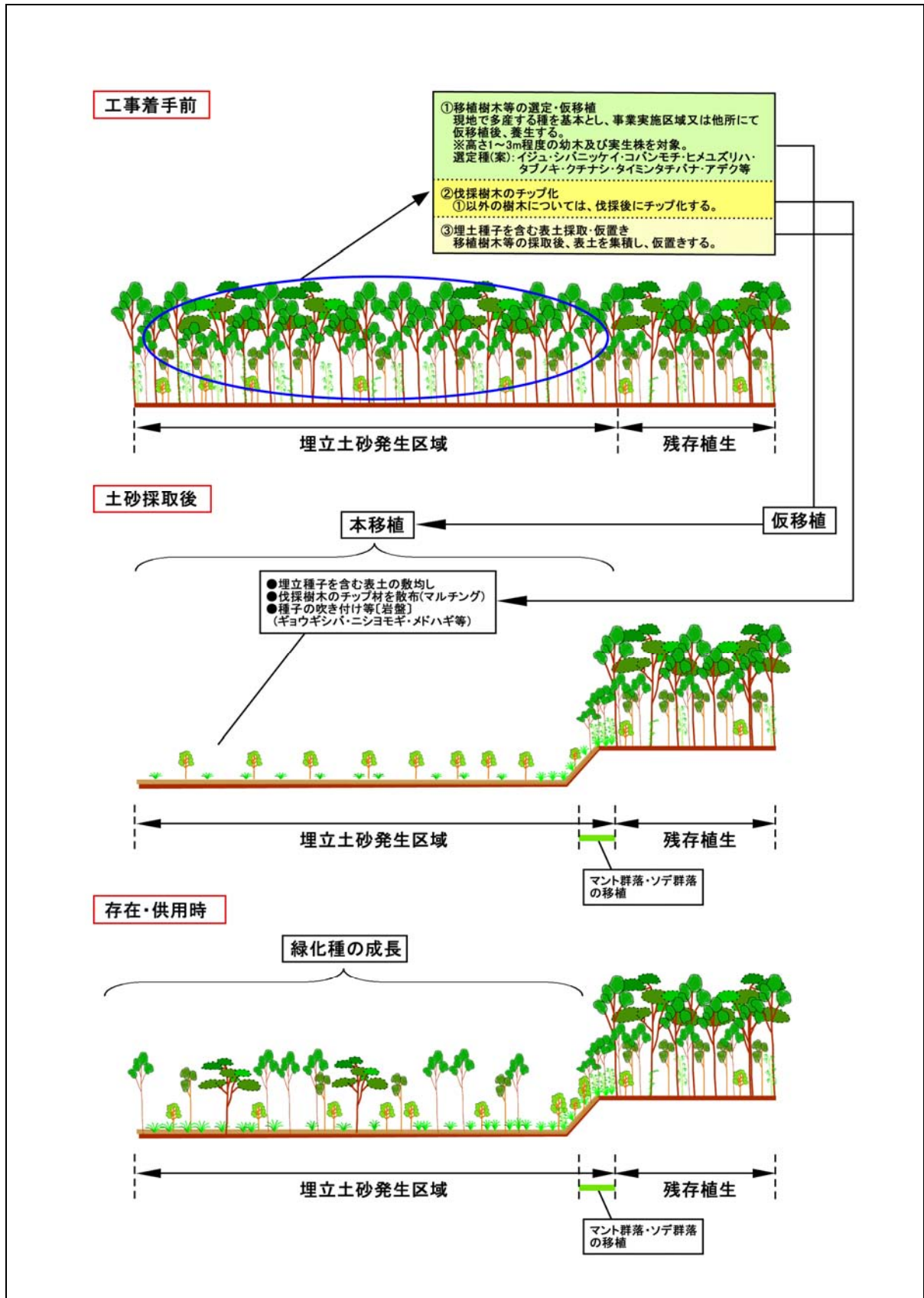
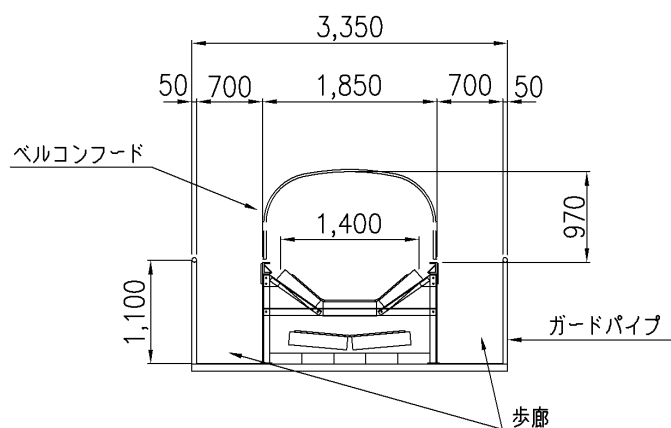


図-2.4.2.60 埋立土砂発生区域における緑化形成模式図

一般部（国道 329 号線高架部以外）



国道 329 号線高架部

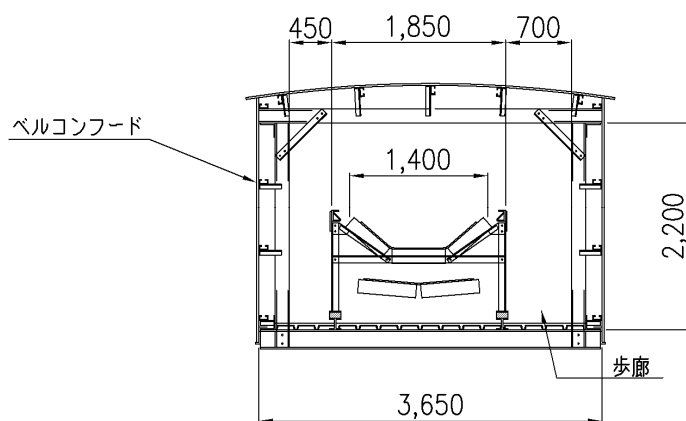


図-2.4.2.61 ベルトコンベア概略図

- 注) 1. 土砂搬送能力は日平均で 1.1 万 $\text{m}^3$ /日程度（ピーク時で 1.5 万 $\text{m}^3$ /日程度）を計画しています。
2. 騒音レベルについては、標準値はなく、ベルト幅やベルト速度に応じて多少変動しますが、メーカーへのヒアリングによると概ね 70dB(A)～90dB(A)の範囲（線音源）です。
3. 実施工段階において、現地に搬入されるベルトコンベアの騒音レベルが予測評価で用いた設定値よりも上回り、敷地境界線の騒音レベルが周辺環境（国立沖縄工業高等専門学校等）に対して悪影響を及ぼすことが確認された場合は、以下の防音対策を講じます。
- ・シュートやホッパー系の騒音が問題になる場合は、防音シート等の取り付けやゴム製緩衝シートの張り付け。
  - ・駆動装置系の騒音が問題となる場合は、防音シート等の取り付け。
  - ・中間部ローラー系の騒音が問題となる場合は、防音シート等の設置。

## (5) 工事中仮設道路

工事中仮設道路の平面図を図-2.4.2.62に、標準断面図を図-2.4.2.63に、縦断面図を図-2.4.2.64に示します。

工事中仮設道路の工事は、A～C区間をそれぞれ図-2.4.2.65に示す順序で行います。施工フローは図-2.4.2.66に示すとおりです。

なお、工事中仮設道路は、工事終了後、一部（仮設道路A及びC）を除き撤去することとしており、撤去後は、現状の植生状況を参考に樹木移植による回復措置を講じます。

移植樹種については、現存植生図から、海岸性の植生としてオオハマボウ群落（主にオオハマボウ）、アダン群落（主にアダン）、海岸風衝低木林（主にハマビワ、インドシャリンバイ、クサトベラ）等が消失することから、これらを選定して自然林に近い植生を回復させます。なお、アダンの実は国指定天然記念物であるオカヤドカリの餌となり、本種の保護にもつながるものとして選定しています。

移植方法としては、工事着工前に移植対象とする種を仮移植（穂場）し養生します。工事中仮設道路を撤去した後に、仮移植地より本移植を実施します。

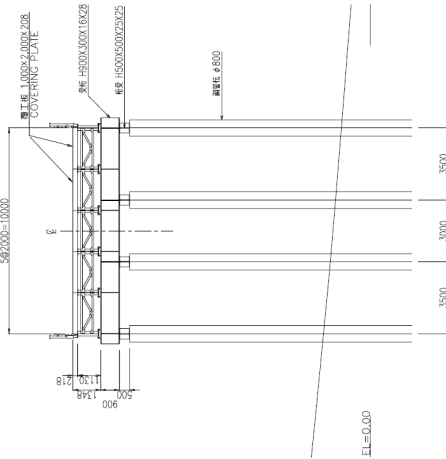


图-2.4.2.62 工事用仮設道路平面图

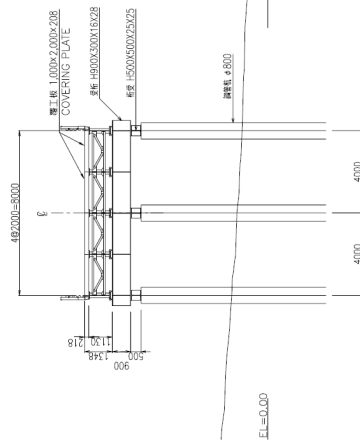


標準断面図  
STANDARD CROSS SECTION  
(A1.1S=1/100, A3.S=1/200)  
工事用道路 B  
CONSTRUCTION ROAD B

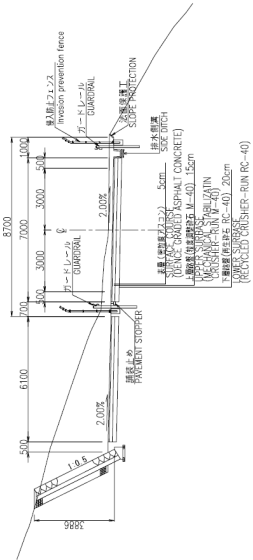
No.19 (一般部)  
(GENERAL SECTION)  
GH=14.47  
FH=14.47



No.12 (橋架部、仮橋区間)  
(BRIDGE SECTION, TEMPORARY BRIDGE SECTION)  
GH=1.49  
FH=8.90

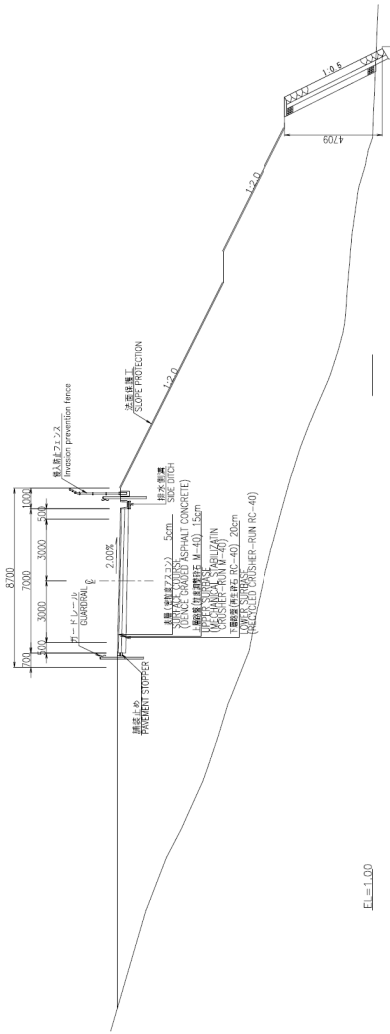


EC5 (最大切土深さ位置)  
DEPTH OF MAXIMUM CUT  
GH=10.18  
FH=9.99



EL=2.00

No.48 (最大盛土高さ位置)  
HEIGHT OF MAXIMUM FILL  
GH=6.77  
FH=13.30



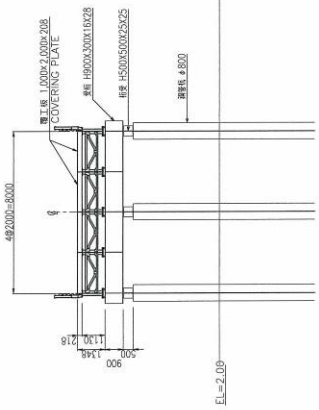
EL=1.00

※欄外者での想定であり、詳細については、建設計画が具体化した後となる。  
It is assumed by present. Details become after the building program matter is set.

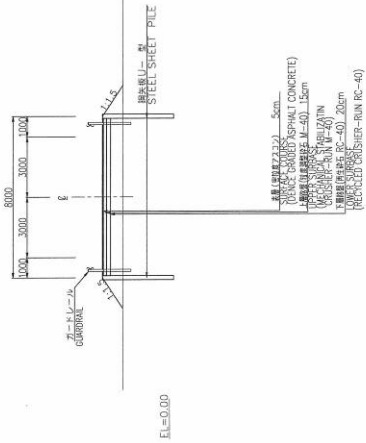
図-2.4.2.63(2) 工事用仮設道路標準断面図 (B区間)

標準断面図  
STANDARD CROSS SECTION  
(A1:S=1/100, A3:S=1/200)  
工事用道路C  
CONSTRUCTION ROAD C

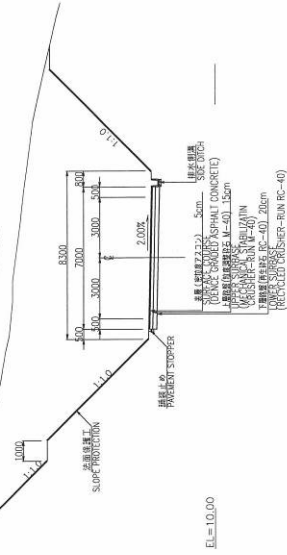
No.7 (高架部 橋区間)  
(BRIDGE SECTION\_ TEMPORARY BRIDGE SECTION)  
GH=2.30  
FH=5.30



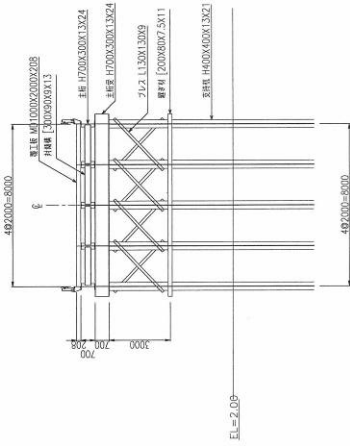
No.1 (埋立橋まわり付部)  
(TAPER SECTION)  
GH=3.30  
FH=3.30



No.17 (最大切土深さ位置)  
DEPTH OF MAXIMUM CUT  
PH=19.82



No.8 (一般部)  
(GENERAL SECTION)  
GH=2.30  
FH=10.00



※架設現場での調査であり、詳細については、建設計画が具体化した後となる。

図-2.4.2.63(3) 工事用仮設道路標準断面図 (C区間)

工事用道路縦断面図 (A区間)  
CONSTRUCTION ROAD PROFILE  
(A SECTION)

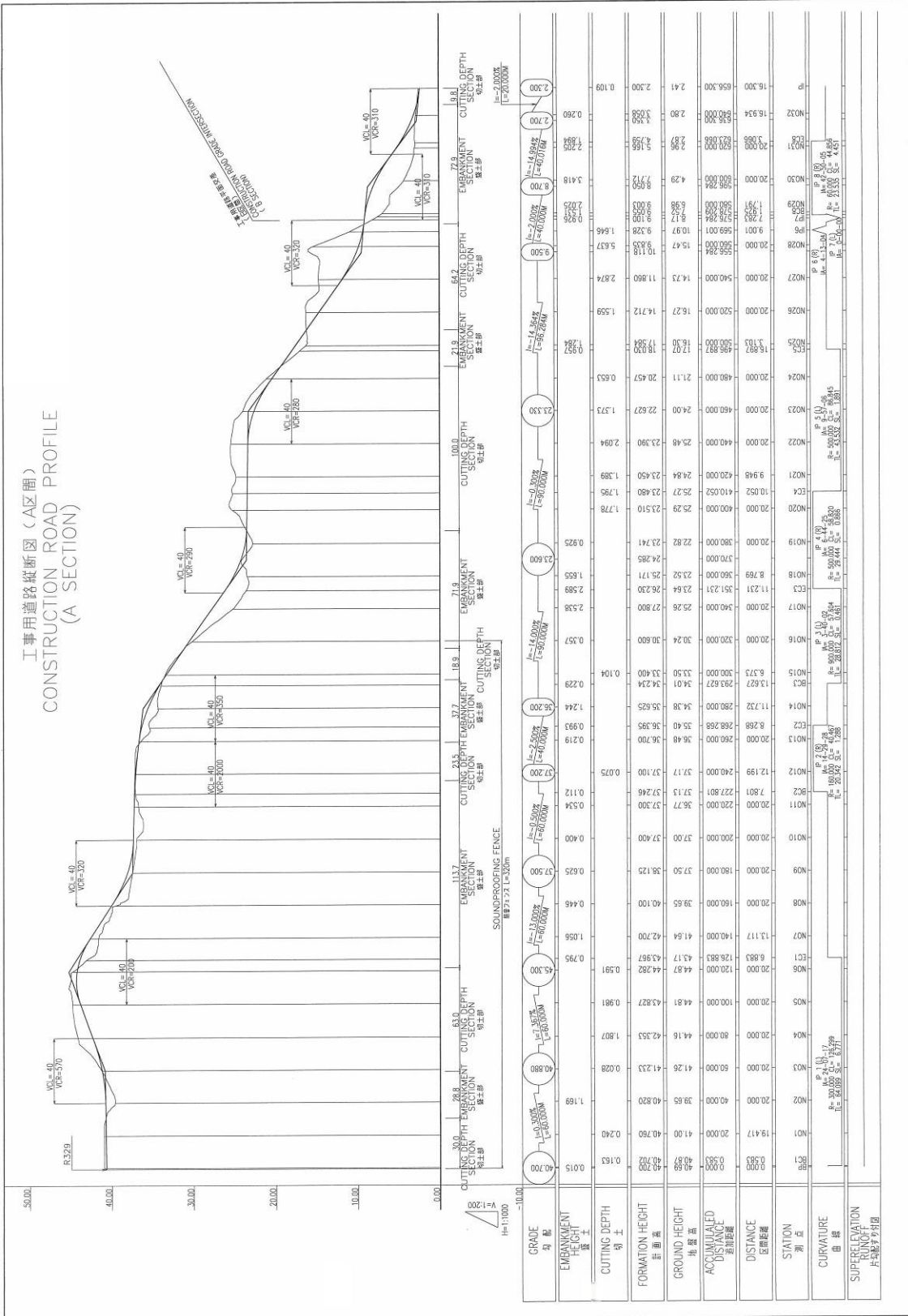


図-2.4.2.64(1) 工事用仮設道路縦断面図 (A区間)



工事用道路縦断面図 (B区間) -1  
CONSTRUCTION ROAD PROFILE  
(B SECTION) -1

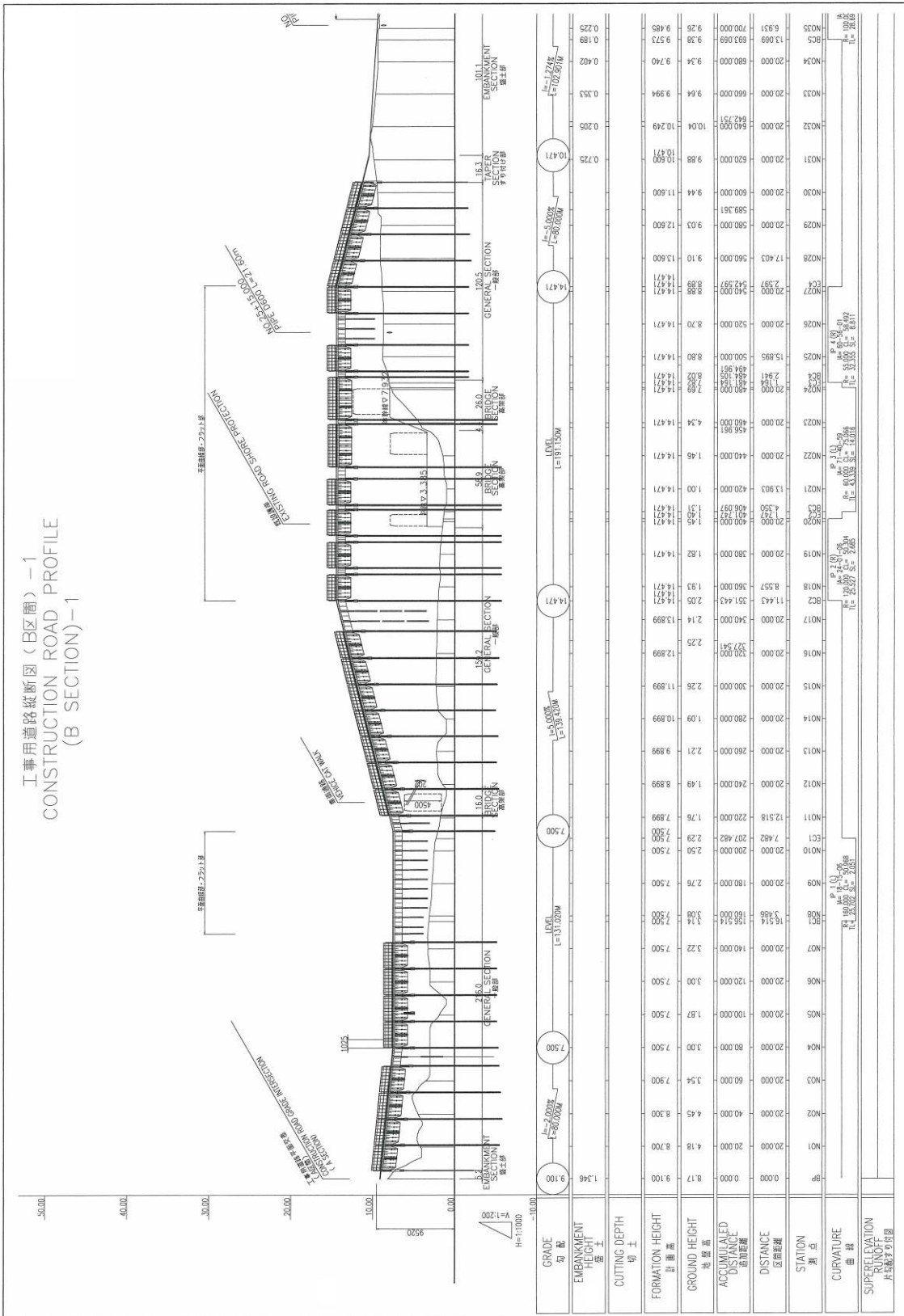


図-2.4.2.64(2) 工事用仮設道路縦断面図 (B区間-1)



工事用道路縦断面図 (C区間)  
CONSTRUCTION ROAD PROFILE  
(C SECTION)

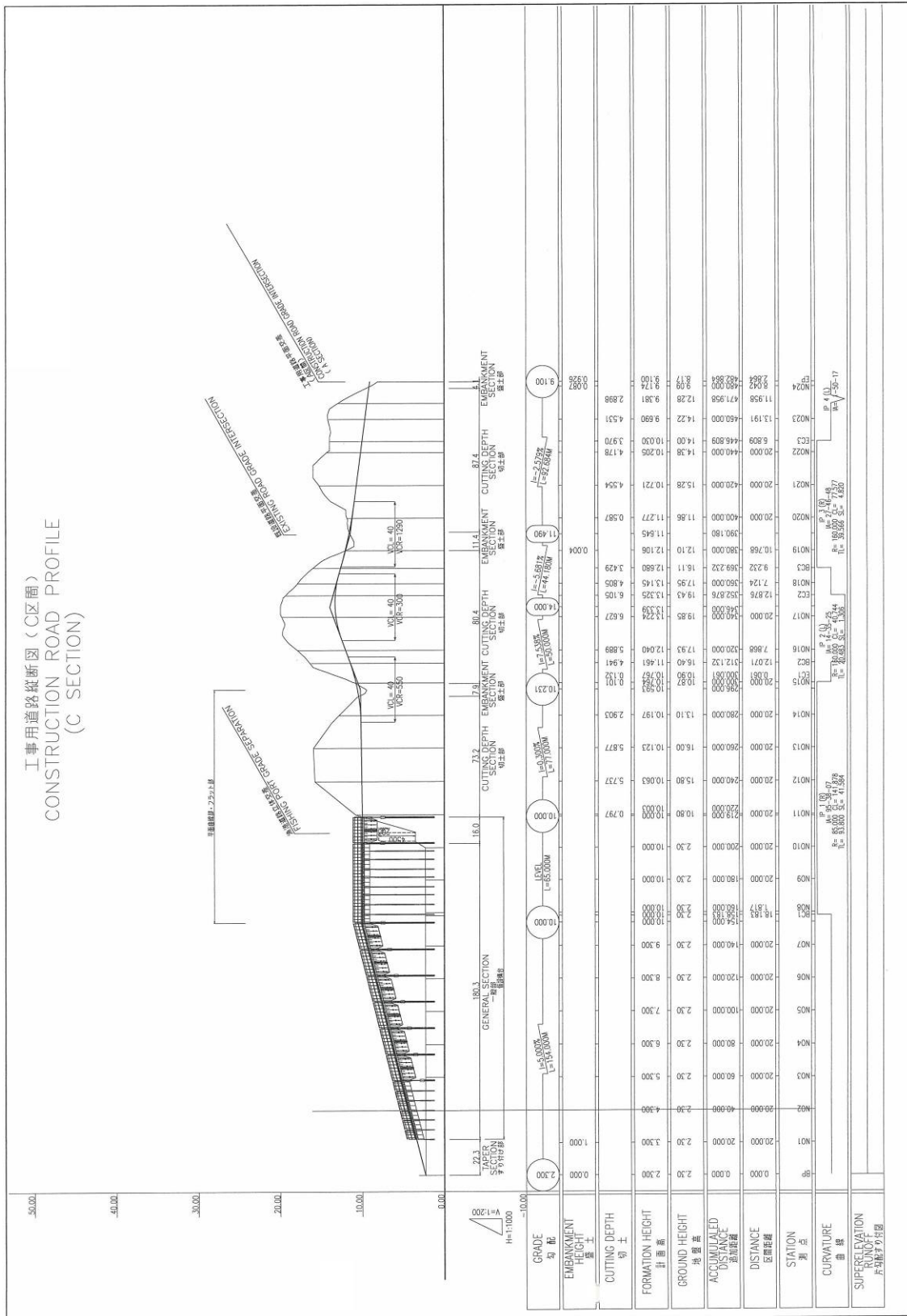
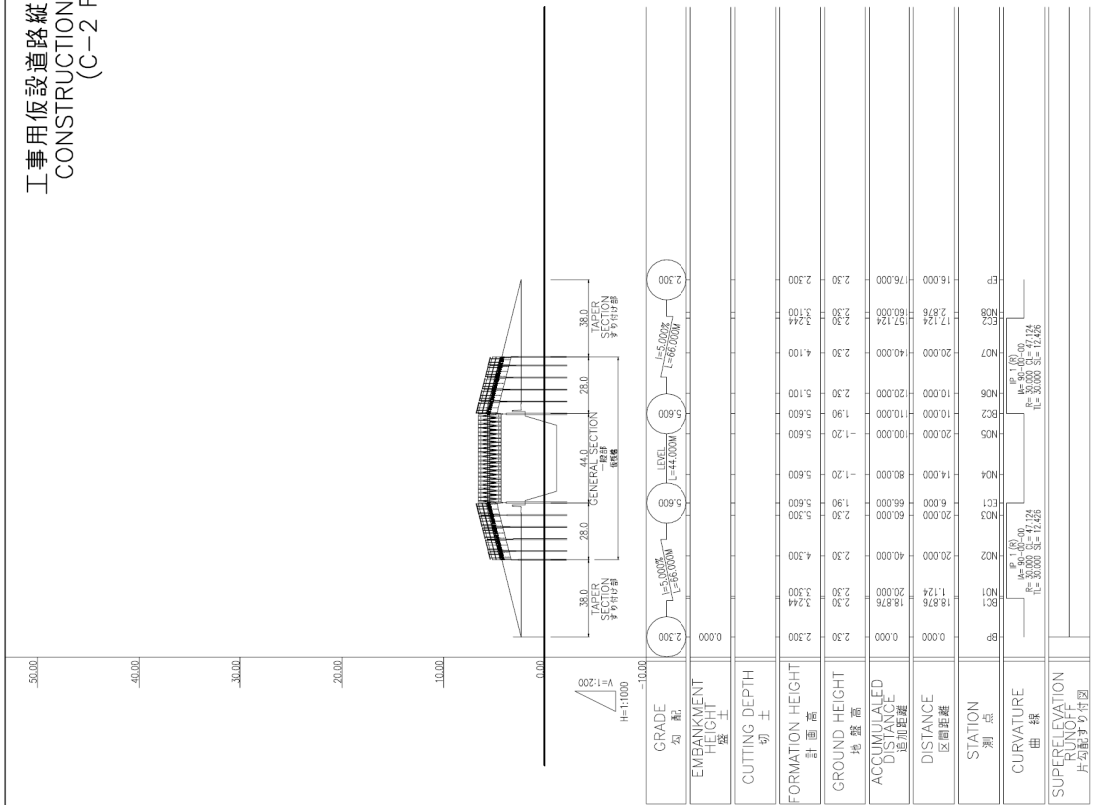


図-2.4.2.64(4) 工事用仮設道路縦断面図 (C区間)

工事用仮設道路縦断面図 (C-2区間)  
CONSTRUCTION ROAD PROFILE  
(C-2 ROUTE)



標準断面図  
STANDARD CROSS SECTION  
(A1:S=1/100, A3:S=1/200)

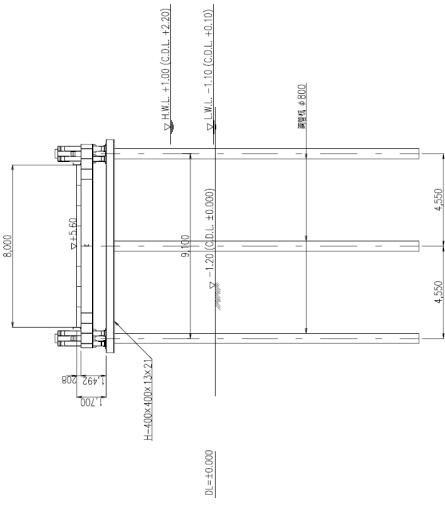


図-2.4.2.64(5) 工事用仮設道路縦断面図 (C-2 区間)